

# 日本民俗学会第66回年会日程

## 2014年10月11日(土)

- 9:30～10:00 理事会(岩手県立大学 共通講義棟 208 教室)  
10:00～12:00 評議員会(岩手県立大学 共通講義棟 208 教室)  
12:00～ 受付開始(岩手県立大学 共通講義棟 エントランスホール)  
13:00～16:30 **公開シンポジウム「山に生きる—くらしの変化と民俗—」**  
(岩手県立大学 共通講義棟 講堂)

### 基調講演

田中宣一「山に生かされる」

### 基調報告

田口洋美「近代におけるマタギ集落の生業構造変動と  
そのインパクト：新潟県三面集落の事例を中心に」

林 雅秀「山菜・キノコ資源利用と部外者入山ルール  
：福島県会津地方の集落間比較から」

山下裕作「現代における山の怪異譚—生活からの乖離と無視—」

### パネルディスカッション

コメンテーター 湯川洋司

司会 大石泰夫

- 16:30～17:50 研究奨励賞授与式・会員総会 (岩手県立大学 共通講義棟 講堂)  
18:15～20:15 懇親会 (岩手県立大学 学生食堂)

## 2014年10月12日(日)

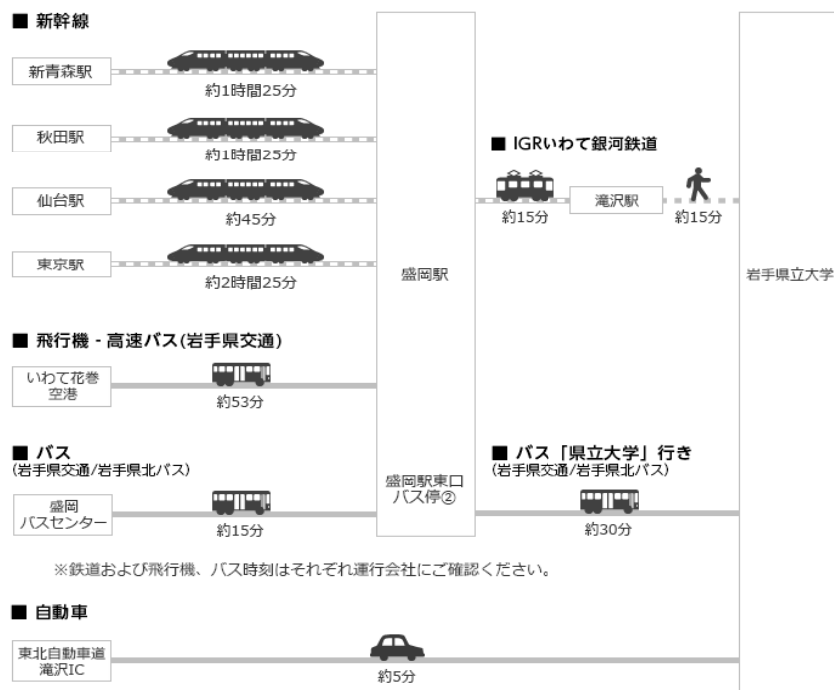
- 9:00～ 受付開始(岩手県立大学 共通講義棟 エントランスホール)  
9:30～12:00 研究発表(午前)(岩手県立大学 共通講義棟 各教室)  
12:00～13:00 昼食  
13:00～15:30 研究発表(午後)(岩手県立大学 共通講義棟 各教室)

## 2014年10月13日(月・体育の日)

- 8:30～16:00 見学会「いわて南部の技術を見る」  
盛岡駅西口(8:30)～石鳥谷歴史民俗資料館・南部杜氏伝承館～(昼食)～盛岡市内酒蔵  
～岩鑄鉄器館～もりおか歴史文化館～盛岡駅西口(16:00)

(岩手県立大学への交通案内図)

#### 県立大学までのアクセス



【会場】 岩手県立大学滝沢キャンパス

所在地：〒020-0693 岩手県滝沢市菓子 152-52

#### 【交通手段】

##### 1. 飛行機（花巻空港～盛岡駅）

花巻空港からJR盛岡駅まで高速バス53分。運賃1,400円。

##### 2. 鉄道（IGR盛岡駅～岩手県立大学）

IGR盛岡駅からいわて銀河鉄道線で約15分。滝沢駅降車。運賃370円。駅から岩手県交通バス盛岡大学行きで「県立大学前」下車。運賃140円。あるいは駅から徒歩約15分。

##### 3. バス（JR盛岡駅～岩手県立大学）

JR盛岡駅東口バスプール②番乗り場より〈岩手県交通県立大学行き、岩手県北バス県立大学経由滝沢駅行き〉に乗車して「県立大学前」で下車。30分。岩手県交通400円。岩手県北バス450円。

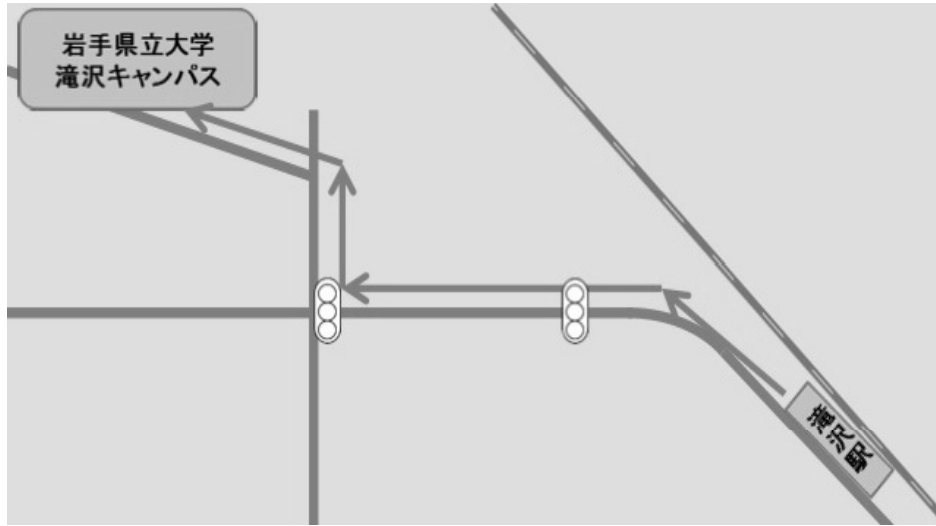
##### 4. 自家用車（東北自動車道滝沢IC～県立大学）

東北自動車道滝沢ICで下り、国道4号線青森方面へ500メートル、信号を右折。県立大学方面へ。約5分。

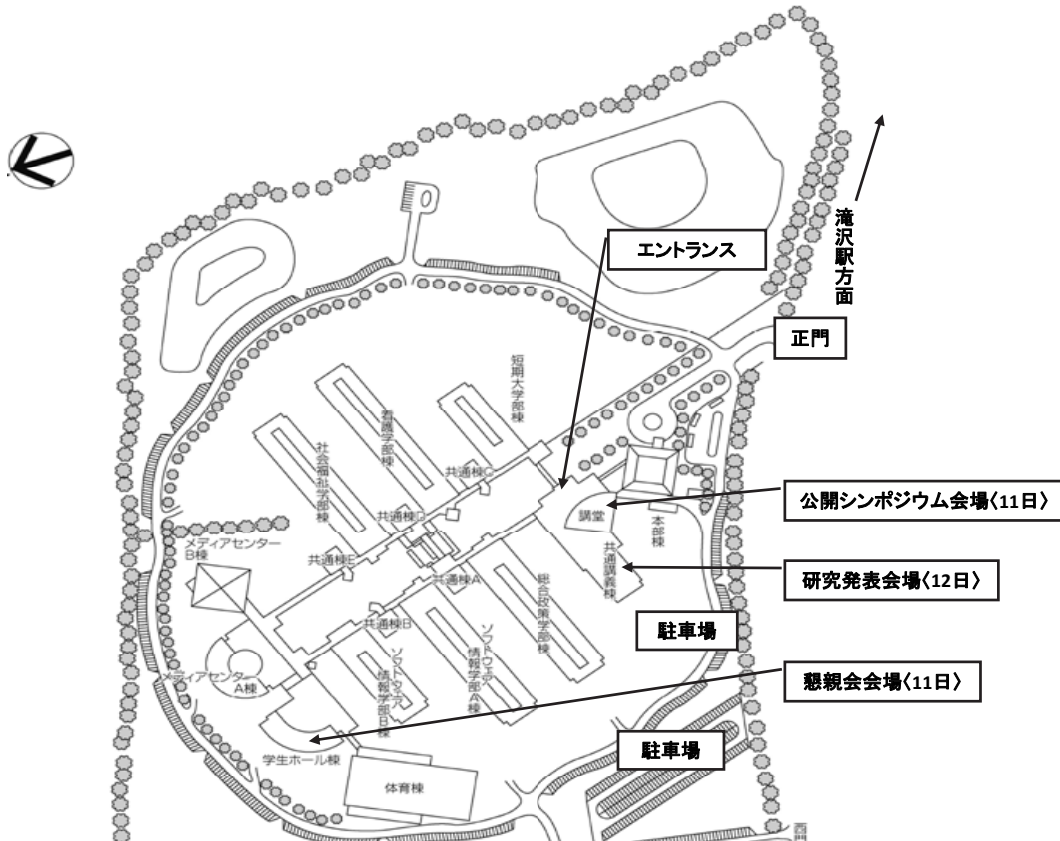
#### 【駐車場】

駐車上はキャンパス内に十分なスペースがございます。施設配置図をご覧ください。

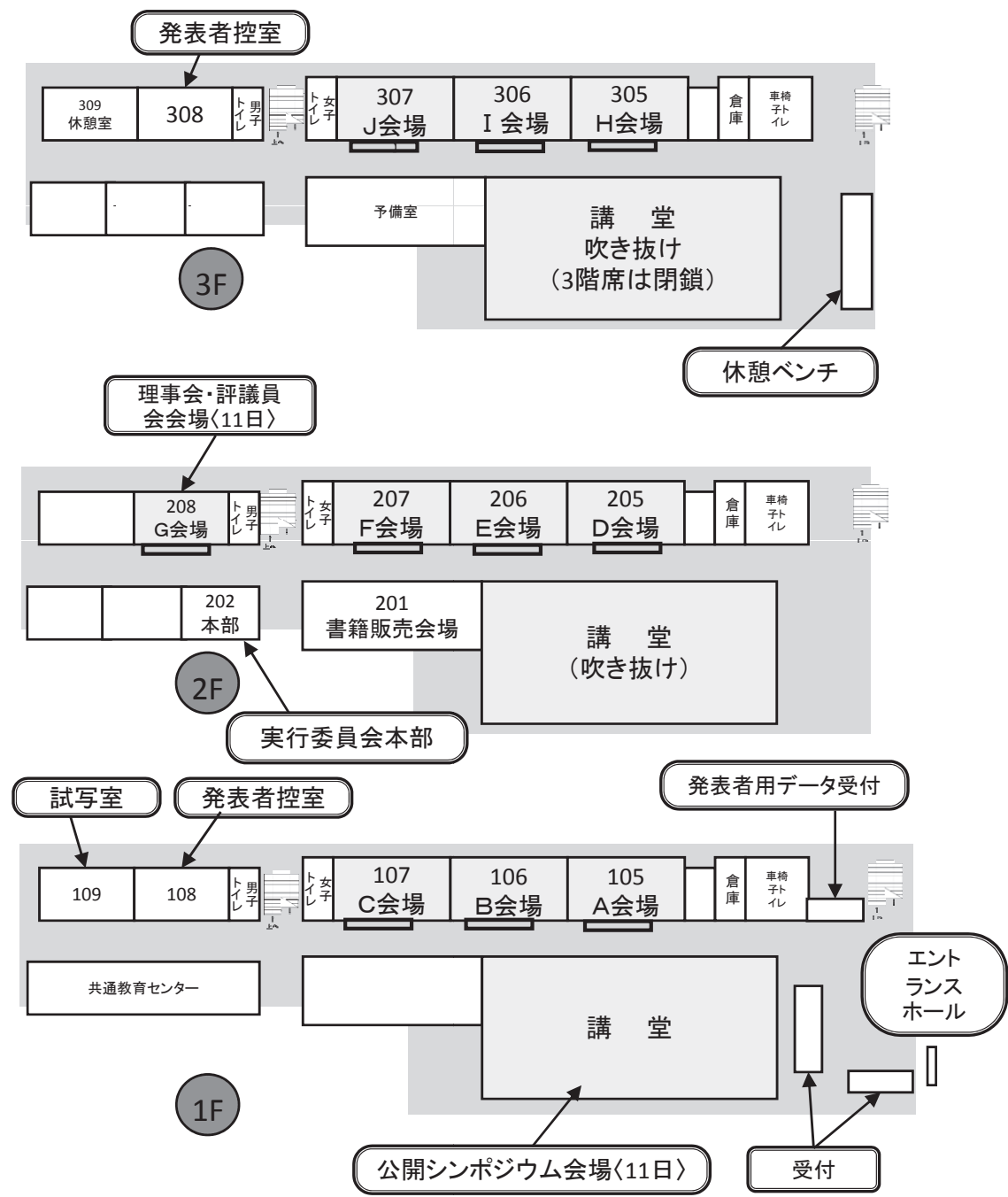
【滝沢駅から県立大学への道順】



【施設配置図】



シンポジウム・研究発表会場（共通講義棟平面図）



## ◆年会参加者の皆さまへ

### □年会受付

▽受付では、お名前をおっしゃっていただいたうえで、個人名の書いた袋をお受け取り下さい。中には研究発表要旨集と名札等が入っています。

▽当日の参加申込みをされる方は、「当日申込み受付」にてお申し込みください。

当日の参加費用は、年会参加費 5,000 円、懇親会参加費 6,000 円、見学会 6,000 円です。

※事前申込みの状況から、当日申込み受付は大変混み合うことが予想されております。ご了承ください。

### □名札

▽会場では、常時、名札をお付けください。

▽懇親会に参加される方、および、あらかじめお弁当の代金を振り込まれた方には、懇親会参加券・弁当引換券をお渡しします。なお、懇親会の際は、必ず名札をつけてご参加いただきますようお願い申し上げます。

▽名札は、お帰りの際に、スタッフまたは回収箱へお返しく下さい。

### □懇親会

▽懇親会は、11日（土）18:15より、学生食堂にて行います。

▽懇親会場に入場する際には、受付で配付する「懇親会参加券」を、会場入り口の係にお渡しください。

▽当日、参加を申込みされる方は、「当日申し込み受付」にてお申し込みください。参加費は6,000円です。

▽懇親会終了後、盛岡駅までのバスを用意します。スタッフをご案内いたしますのでご利用ください。

▽懇親会会場にはクロークを設けます。ただし、貴重品などの管理は各自の責任において行ってください。盗難・紛失・毀損などについて、実行委員会としては一切責任を負いかねますので、ご了承ください。

## □食事

▽構内の学生食堂は、時間を限定して営業します。11日は11時半～13時半、12日は11時～14時の時間帯で営業します。限定メニューですが定食・麺類などを食べられます。キャンパス周辺には飲食店、売店はありませんので、食事は用意してこられるか事前申し込みの弁当、食堂をご利用下さい。

## □昼食弁当の配布（事前注文）

▽お弁当は、12日（日）11時45分から、学生食堂にて引換券と交換でお渡しします。なお、お弁当の当日申し込みは受けかねますのでご了承ください。

## □喫煙場所

▽岩手県立大学の敷地内はすべて禁煙となっております。喫煙場所はありません。大学構内でのおたばこはご遠慮ください。

## □書籍・研究雑誌コーナー

▽11日・12日の両日、以下のとおり書籍・研究雑誌コーナーを設けます。

場所: 共通講義棟2階201教室

時間: 土曜 12:30～17:00 / 日曜 10:30～15:00

## □抜き刷り配布コーナー

▽抜き刷り配布コーナーを休憩室（309）に設けます。配布希望の方はご持参ください。なお、配布コーナーは12日（日）15時に残部を撤去いたしますのでご注意ください。

## □その他

▽発表会場内では、携帯電話の電源を必ずお切りください。

▽会場内で何かご不明な点がございましたら、スタッフまでおたずねください。

## ◆個人発表の皆さまへ

### □データ受付（11日）（12日）

▽機材を使用して発表される方につきましては、事前にデータの登録・確認作業が必要です。データ受付をエントランスホールに設けてありますので、遅くとも発表の60分前までにはデータの登録・確認をお済ませください。

データ受付は随時行っております。混み合う場合もございますので、早めの登録・確認をお願い致します。

なお、お預かりしたデータは、年会終了後、実行委員立会いのもとすべて削除いたしますので、ご安心ください。

また持ち込みPCでご発表の方も必ずデータ受付にお越しください。

### □使用機材

▽各会場には、PC(Windows7とOffice2013)、持ち込みパソコン用ケーブル(Dsub15Pin)、プロジェクター(解像度XGA1024×768ドット)、書画カメラが設置されています。

▽データをUSBメモリでお持ち下さい。Office2013以外のバージョンで作成されたデータは、まれに体裁が崩れる場合がありますので、事前確認をお勧めいたします。

▽11日、12日の両日、共通講義棟109教室に試写室を設けます。

▽持ち込みパソコン(Mac機など)で発表される場合に、接続可能なのはDsub15Pinケーブルのみとなります。それ以外はアダプターが必要ですので、各自確認の上ご持参下さい。

### □発表受付（12日）

▽発表者は、発表の30分前までに発表会場の前で受付をお済ませください。

ただし、午前最初の発表者は9時15分まで、午後最初の発表者は12時45分までにお申し出ください。

▽発表者は、前の発表が始まるまでに発表会場の「次発表者席」に着席のうえ待機してください。ただし、午前最初の発表者は9時20分より、午後最初の発表者は12時50分より待機してください。

## □配布資料

- ▽配布資料がある場合は、あらかじめ 50 部以上をご用意のうえ、発表受付時に会場担当者にお渡しください。
- ▽各発表会場の座席数は、A会場～F会場、H会場～J会場（110 人）、G会場（90 人）です。
- ▽配布資料の事前送付および当日の複写はお受けすることはできません。

## □発表時間

- ▽発表 20 分・質疑応答 5 分とし、以下のようにベルで時間をお知らせします。終了時間は厳守くださいますようお願いいたします。
  - 17 分経過 ベル 1 回（発表終了 3 分前）
  - 20 分経過 ベル 2 回（発表終了）
  - 25 分経過 ベル 3 回（質疑応答終了）
- ▽発表者や座長の交代、聴講者の移動のため、各発表の間に 5 分の時間をとります。この時間は発表延長のための時間ではありませんので、ご注意ください。
- ▽発表者の責任により発表の開始が遅れた場合には、定刻の範囲内で発表・質疑応答を行ってください。

## ◆グループ発表の皆さまへ

### □発表受付

- ▽グループ発表の代表者は、メンバーが揃ったことをご確認のうえ、発表予定時刻の 15 分前までに会場担当者にお申し出ください。
- ▽グループ発表の時間枠は、「発表者×30 分－5 分」になります。進行、質問の受付、時間配分などの運営は、決められた時間内で各団体で自由に決めてください。終了時間は厳守でお願いいたします。

### □配布資料・使用機材

- ▽取り扱いは、個人発表と同様です。



## ◆座長の皆さまへ

- ▽ご担当の発表が始まる 30 分前までに各会場担当者にお申し出のうえ、発表会場の「次座長席」にご着席ください。ただし、午前最初の座長の方は 9 時 20 分より、午後最初の座長の方は 12 時 50 分より待機してください。
- ▽「発表時間」に記した時間通りにタイムキーパーがベルを鳴らします。このベルを参考にして、発表が時間通りに行われるようご配慮をお願いします。
- ▽進行中に、問題が生じた場合は、各会場担当者へお申し付けください。

12日(日) 研究発表タイムテーブル

会場名	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
教室番号	105	106	107	205	206
定員/時間	110	110	110	110	110
①9:30~ 9:55	小笠原輝	磯本宏紀	大野 啓	西尾正仁	石本敏也
②10:00 ~10:25	小池淳一	末田智樹	立柳 聡	堀岡喜美子	井上卓哉
③10:30 ~10:55	手塚恵子	広尾克子	田中久美子	小出亜耶子	伊藤 茜
④11:00 ~11:25	廣部綾乃	増野高司	吉村 風	永島大輝	金子直樹
⑤11:30 ~11:55	湯川洋史	増崎勝敏	藤坂彰子	菱川晶子	橋本好史

⑥13:00 ~13:25	角南聡一郎	小山 悠	岸本昌良	布目恵理	関口 健
⑦13:30 ~13:55	瀧 智弘	戸邊優美	和田 健	樽井由紀	田中久夫
⑧14:00 ~14:25		加藤幸治	山中健太		
⑨14:30 ~14:55		葉山 茂			
⑩15:00 ~15:25		及川 高			

F会場	G会場	H会場	I会場	J会場	会場名
207	208	305	306	307	教室番号
110	90	110	110	110	定員/時間
石川俊介	今井雅之	郷田典子	遠藤健悟	近藤功行	①9:30~ 9:55
鈴木寛之	丸山和央	毛久燕	大沼知	板橋春夫	②10:00 ~10:25
塚原伸治	渡部鮎美	谷岡優子	川野和昭	《グループ発表》 民俗行政と民俗学 —「現場」と「学」を 取り結ぶために 俵木悟・村上忠喜 ・菅豊	③10:30 ~10:55
富田安子	浮葉正親	田村明子	湯紹玲		④11:00 ~11:25
原田寿真	陸薇薇	仲川みなみ	宮平盛晃		⑤11:30 ~11:55

村田典生	小林宏至	《グループ発表》 — 関市南部神楽 調査中間報告 橋本裕之・東資子 ・小谷竜介 ・千葉信胤	小熊誠	島村恭則	⑥13:00 ~13:25
矢島妙子	童菲		早坂優子	武井基晃	⑦13:30 ~13:55
			福寛美		⑧14:00 ~14:25
			渡邊わこ		⑨14:30 ~14:55
					⑩15:00 ~15:25

A会場 105教室(定員110名)

- 9:30—9:55 小笠原 輝 (山梨県)  
現在における文化資本としての里地・里山の成立過程
- 10:00—10:25 小池 淳一 (東京都)  
山・巻物・職人  
—北奥羽のマタギ巻物とその周辺—
- 10:30—10:55 手塚 恵子 (京都府)  
山と街を繋ぐ川  
—京筏組の実践—
- 11:00—11:25 廣部 綾乃 (京都府)  
自家用の茶文化  
—山間地域を中心に—
- 11:30—11:55 湯川 洋史 (熊本県)  
成人式の変遷から見る「山村青年」像の変化  
—宮崎県東臼杵郡諸塚村の成人式及び成人講座を例として—

昼休憩

- 13:00—13:25 角 南 聡一郎 (奈良県)  
屋内地下貯蔵施設の研究  
—奈良県吉野地方のイモアナを例に—
- 13:30—13:55 瀧 智 弘 (東京都)  
動物血利用習俗の研究

B会場 106教室(定員110名)

- 9:30-9:55 磯本宏紀 (徳島県)  
現代移住漁民の出漁地における定住をめぐる  
ー長崎、福岡における二艘曳底曳網漁船船員の事例ー
- 10:00-10:25 末田智樹 (愛知県)  
西海捕鯨業地域における鯨組と捕獲鯨  
ー経済史と民俗学と歴史地理の3つの領域から見直すー
- 10:30-10:55 広尾克子 (兵庫県)  
ズワイガニの発見と流通
- 11:00-11:25 増野高司 (神奈川県)  
青森県の花見  
ー花見ガニ(トゲクリガニ)食に着目してー
- 11:30-11:55 増崎勝敏 (大阪府)  
沿岸漁業者の生活誌  
ー福岡市東区志賀島の事例よりー

昼休憩

- 13:00-13:25 小山悠 (宮城県)  
宮城県石巻市雄勝地区のホタテガイ養殖について
- 13:30-13:55 戸邊優美 (兵庫県)  
緊急事態における関係性  
ー東日本大震災における女性同士の結びつきを通してー
- 14:00-14:25 加藤幸治 (宮城県)  
津波常襲地における災害復興と工業技術  
ー石巻市雄勝地区における粘板岩採掘と加工技術調査からー
- 14:30-14:55 葉山茂 (千葉県)  
被災物を通してみえる生活とその変容  
ー宮城県気仙沼市の尾形家住宅を事例に
- 15:00-15:25 及川高 (宮城県)  
この先への葛藤  
ー2014年陸前高田の「動く七夕」ー

C会場 107教室(定員110名)

- 9:30—9:55 大野 啓 (京都府)  
イエの再検討  
—民俗学の視点から—
- 10:00—10:25 立柳 聡 (東京都)  
家族類型におけるインキョ制家族再考  
—八丈島の事例を踏まえて—
- 10:30—10:55 田中 久美子 (福岡県)  
配偶者選択における仲人の経験
- 11:00—11:25 吉村 風 (東京都)  
滋賀における村落自治と生活改善
- 11:30—11:55 藤坂 彰子 (大分県)  
神様を移す  
—ダム建設にともなう集落移転と信仰の継続—

昼休憩

- 13:00—13:25 岸本 昌良 (東京都)  
有賀喜左衛門の家族と家族論
- 13:30—13:55 和田 健 (千葉県)  
弊風とされた民俗  
—更生計画書、生活改善規約に記載され改善を求められた社交儀礼—
- 14:00—14:25 山中 健太 (京都府)  
地域保健活動と住民運動  
—愛媛県南予の「地区診断」と農村生活—

D会場 205教室(定員110名)

- 9:30—9:55 西尾正仁 (兵庫県)  
近世東北日本における神仏習合と薬師信仰
- 10:00—10:25 堀岡喜美子 (大阪府)  
近世天王寺神子について
- 10:30—10:55 小出亜耶子 (北海道)  
憑き物とお犬さま信仰の関連
- 11:00—11:25 永島大輝 (栃木県)  
馬の怪異伝承  
—首切れ馬を中心に—
- 11:30—11:55 菱川晶子 (愛知県)  
温泉発見伝説と動物  
—岩手県鉛温泉の場合

昼休憩

- 13:00—13:25 布目恵理 (東京都)  
地名命名法の民俗学的研究
- 13:30—13:55 樽井由紀 (大阪府)  
寺湯についての民俗学的研究

E会場 206教室(定員110名)

- 9:30—9:55 石本敏也 (茨城県)  
地域巡礼の継承
- 10:00—10:25 井上卓哉 (静岡県)  
屋根裏に残されたお札類に見る山村の信仰活動  
—新潟県妻有地方の事例から—
- 10:30—10:55 伊藤茜 (茨城県)  
娘による里修験の継承  
—群馬県利根郡みなかみ町新治地区のホウエンを事例に—
- 11:00—11:25 金子直樹 (兵庫県)  
岩木山信仰の展開  
—信仰圏成立の背景—
- 11:30—11:55 橋本好史 (三重県)  
民間信仰の証「盃状穴」について

昼休憩

- 13:00—13:25 関口健 (東京都)  
山形県最上地方の法印様  
—鮭川流域を中心として—
- 13:30—13:55 田中久夫 (兵庫県)  
賀茂社と陰陽寮と陰陽師



F会場 207教室(定員110名)

- 9:30-9:55 石川俊介 (長野県)  
同郷者学生寮の行事に見える「郷土」  
—東京都調布市の長善館を事例として—
- 10:00-10:25 鈴木寛之 (熊本県)  
熊本の本屋さん  
—書店の伝承—
- 10:30-10:55 塚原伸治 (茨城県)  
意図されなかった結末  
—「佐原雛子」の戦後史をめぐる物語—
- 11:00-11:25 富田安子 (埼玉県)  
いで湯ツーリズムと薬師信仰
- 11:30-11:55 原田寿真 (熊本県)  
「魂の行くえ」再考  
—国立ハンセン病療養所「菊池恵楓園」の納骨堂祭祀をめぐる—

昼休憩

- 13:00-13:25 村田典生 (大阪府)  
パワースポットの流行とその諸相
- 13:30-13:55 矢島妙子 (東京都)  
ローカルヒーローにおける歴史・民俗背景  
—「薩摩剣士隼人」の物語性—

G会場 208教室(定員90名)

- 9:30-9:55 今井雅之 (宮城県)  
大型機械化農村における「協業」の崩壊とその後  
-秋田県八郎潟の開拓農村を事例に-
- 10:00-10:25 丸山和央 (宮城県)  
宮城県大崎耕土における稲作の展開
- 10:30-10:55 渡部鮎美 (千葉県)  
過疎・高齢化地域における居住イメージの形成  
-新潟県十日町市松代・松之山地域の出稼ぎ者を事例に-
- 11:00-11:25 浮葉正親 (愛知県)  
ソウルの村祭り  
~府君堂クツを中心に~
- 11:30-11:55 陸 薇 薇 (中国・南京市)  
南京の山文化  
-紫金山を中心に-

昼 休 憩

- 13:00-13:25 小林宏至 (東京都)  
山奥へ投資を呼び込む災因論  
-中国福建省のティピカルな風水事例より-
- 13:30-13:55 童 菲 (東京都)  
中国の都市イベントに見る文化資源開発について  
-南京夫子廟の上元節のランタン祭りを中心として-

H会場 305教室(定員110名)

- 9:30-9:55 郷田典子 (東京都)  
折口学における芸能伝承論  
—登場人物名をめぐって—
- 10:00-10:25 毛久燕 (新潟県)  
集団化制度下の中国舟山群島「東昇木偶劇団」  
—芸人講習会と所得分配制度について—
- 10:30-10:55 谷岡優子 (兵庫県)  
地方花柳界の再活性化  
—「模索」と「葛藤」をめぐって—
- 11:00-11:25 田村明子 (埼玉県)  
女性と芸能  
—伝承基盤の検討から—
- 11:30-11:55 仲川みなみ (神奈川県)  
節分行事の研究  
—「鬼」を中心にして—

昼休憩

- 13:00-14:55 《グループ発表》  
「一関市南部神楽調査中間報告」
- 橋本裕之 (大阪府)  
地域に埋め込まれた南部神楽
- 東資子 (岩手県)  
一関市南部神楽調査研究事業の経緯と展開
- 小谷竜介 (宮城県)  
宮城県における南部神楽の状況
- 千葉信胤 (岩手県)  
南部神楽の芸能と系譜

I 会場 306教室(定員110名)

- 9:30-9:55 遠藤健悟 (宮城県)  
祭礼が続くということ  
—山形県鶴岡市大山地区の大山犬まつりの事例から—
- 10:00-10:25 大沼知 (宮城県)  
月浜のえんずのわりについて
- 10:30-10:55 川野和昭 (鹿児島県)  
もう一つのシバ祭り  
—ニバイ祭の例をとおして—
- 11:00-11:25 湯紹玲 (滋賀県)  
盆棚と精霊舟から見るムラ・イエの盆行事  
—福井県若狭地方の事例から—
- 11:30-11:55 宮平盛晃 (沖縄県)  
沖縄における鬼餅ムーチーの12月8日という暦日の意味  
—鍛冶屋の韃祭、コト八日、庚申信仰との比較—

昼休憩

- 13:00-13:25 小熊誠 (神奈川県)  
「つながり」としての門中
- 13:30-13:55 早坂優子 (宮城県)  
移住者による墓の新設と故郷の墓  
—沖縄県本島中南部への移住者の事例から—
- 14:00-14:25 福寛美 (千葉県)  
シャーマンのヴィジョンとおもろ
- 14:30-14:55 渡邊わか (東京都)  
宮古島狩俣の村落祭祀の民俗学的研究

J会場 307教室(定員110名)

9:30-9:55 近藤 功 行 (沖縄県)  
胃瘻・人工呼吸器装着＝終末期のあり方、初七日と四十九日の  
変化＝葬式の変容  
－琉球文化圏にみる死生観を探る視点－

10:00-10:25 板橋 春 夫 (群馬県)  
産屋習俗の終焉期にみる肯定論と変容のあり方  
－民俗的価値の転換を例として－

10:30-11:55 《グループ発表》  
「民俗行政と民俗学－「現場」と「学」を取り結ぶために」

俵 木 悟 (千葉県)  
ギャップを埋めるには？  
－民俗文化財の理念と現場（現実）－

村 上 忠 喜 (京都府)  
民俗文化財保護行政の現場から

菅 豊 (東京都)  
「民俗行政のコラボラティブ・ガバナンス」

昼 休 憩

13:00-13:25 島 村 恭 則 (兵庫県)  
ヴァナキュラー・トラディション・通時的リフレクション  
－フォークロア研究の理論（1）－

13:30-13:55 武 井 基 晃 (茨城県)  
関心の共有  
－調査対象者と史資料を読む調査－

×E

A series of horizontal dashed lines for writing.

×E

A series of horizontal dashed lines for writing.

## 日本民俗学会第66回年会実行委員会

年会会長 岩本 道弥

実行委員長 大石 泰夫

実行委員 阿部 武司・岩館 岳・小池 淳一・小西 治子・佐藤 一伯・  
佐藤 拓朗・中嶋奈津子・中田 功一・政岡 伸洋・松尾 恒一・  
松本 博明・宮内 貴久・八木橋伸浩・山田 巖子

### 日本民俗学会第66回年会実行委員会事務局

〒020-0693 岩手県滝沢市巢子152-52

岩手県立大学盛岡短期大学部 松本研究室気付

TEL : 019-694-2976 FAX : 019-694-2901

E-mail : nenkai66@yahoo.co.jp

U R L : <https://sites.google.com/site/fsjnenkai66/>